



証券コード：9326

株式会社関通

2025/4/11

# 2025年2月期 通期 決算説明資料

# 2025年2月期 通期 サマリー

## ■ 下方修正に関して

サイバー攻撃を受けた後、お客様の信頼と事業インフラの回復を目指している途上  
第3四半期時点での下方修正では営業利益・経常利益は通年黒字化を見込んでいたものの、  
売上高伸長が想定より鈍化、また労務費増の影響等により最終損益はマイナスで着地

## ■ 通期 連結累計(前年比)

**売上高**                    **+3,331百万円**

↳2023年12月設立の子会社「関通ネクストロジ」を連結計上開始

**経常利益**                    **△498百万円**

↳サイバー攻撃後対応で想定より労務費関連増加

## ■ 通期 連結累計(計画比) ※計画は2024年4月に開示した数値を使用、修正後ではございません

**売上高**                    **△601百万円**

↳サイバー攻撃の影響により物流新規獲得が滞り伸長鈍化

**経常利益**                    **△614百万円**

↳サイバー攻撃後対応で想定より労務費関連増加

# 【2025年2月期】特別利益・損失の計上

- お客様が受けた被害への損害賠償は保険対応で処理可能となり、計上していた特別損失は相殺処理  
サイバー関連の棚卸により損失増、関連する特別損失は713百万円計上  
今件に伴う損失は2025年2月期で全て計上完了

(単位：百万円)

サイバー攻撃に関連する特別利益	金額
主に当社のお客様が受けた被害等への損害賠償に関連する保険対応	358
サイバー攻撃に関連する特別損失	金額
被害を受けた環境で開発や使用していたソフトウェア、仕掛品、工具器具備品等の除却	713
再度のサイバー攻撃を回避するべく、新たに強化されたセキュリティ体制の構築のためセキュリティ対策費	
主に当社のお客様が受けた被害等への損害賠償に関連する費用	358
当社が、関連会社と新たに共同開発していた発注自動化システム「ECOMS」の開発を、本件により中止したことに伴う損失	146
<b>合計(サイバー関連以外含)</b>	<b>873</b>



# I. 前年比



# 【対前年比・連結】2025年2月期 通期

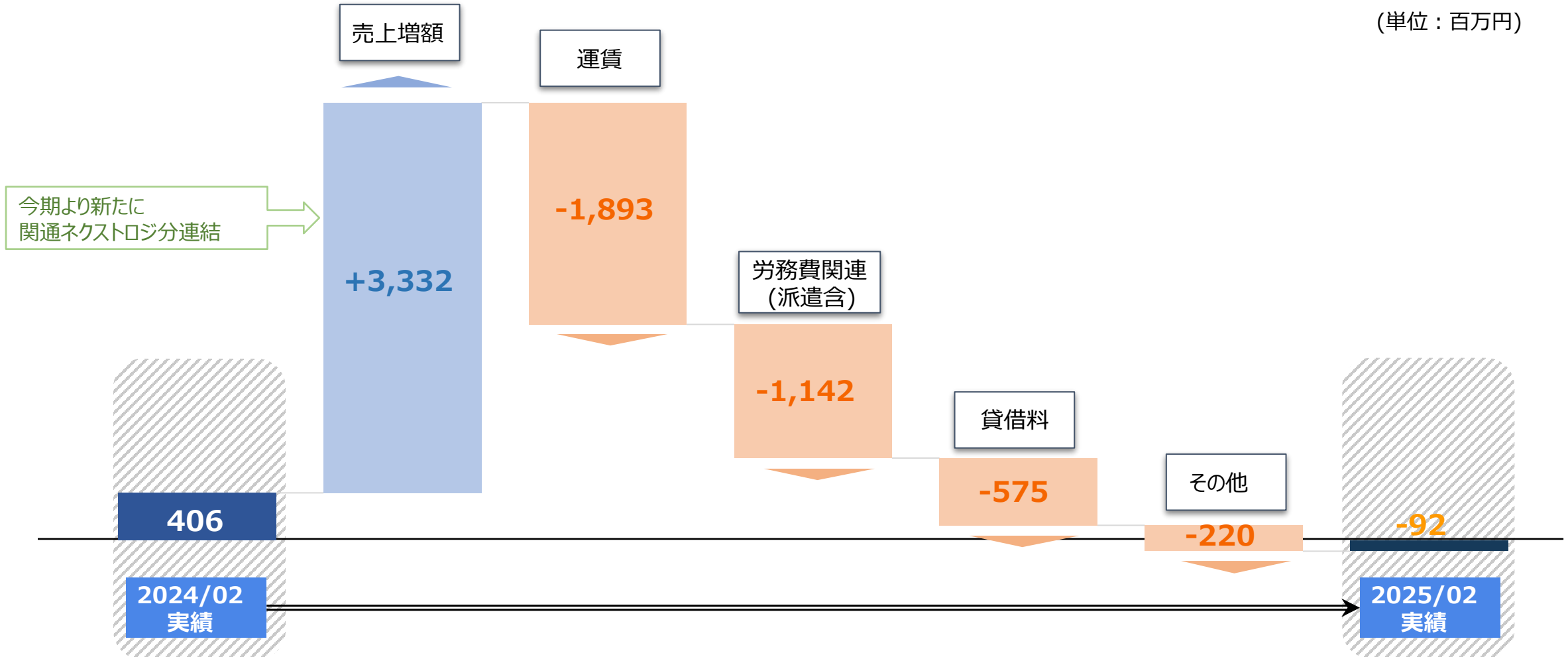
■サイバー攻撃の影響による既存のお客様の解約影響は軽微。ネクストロジ分の計上も加わり売上は前年比増  
サイバー攻撃後の対応で労務費関連が増加したことが要因となり、[営業利益]・[経常利益]はマイナスで着地  
[親会社株主に帰属する当期純利益]はサイバー関連の特別損失を計上した影響

(単位：百万円)

	2024/2期 通期 [実績・連結]	2025/2期 通期 [実績・連結]	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	11,938	<b>15,270</b>	+3,332	+27.9
営業利益	410	△47	△457	-
経常利益	406	△92	△498	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	△848	△897	-

# 【対前年比・連結】経常利益 増減分析

■ 利益率が高くはない「運賃売上」の占める割合が増えたことに加え、サイバー攻撃及びその後の対応に関する労務費増加が影響





## II. 計畫比

# 【対計画比・連結】2025年2月期 第4四半期

■ 第3四半期でサイバー攻撃の影響を見積もって下方修正したものの、売上が想定ほど伸びず  
[営業利益]・[経常利益]・[親会社株主に帰属する当期純利益]はマイナスで着地。

※計画は2024年4月に開示した数値を使用、修正後ではございません。

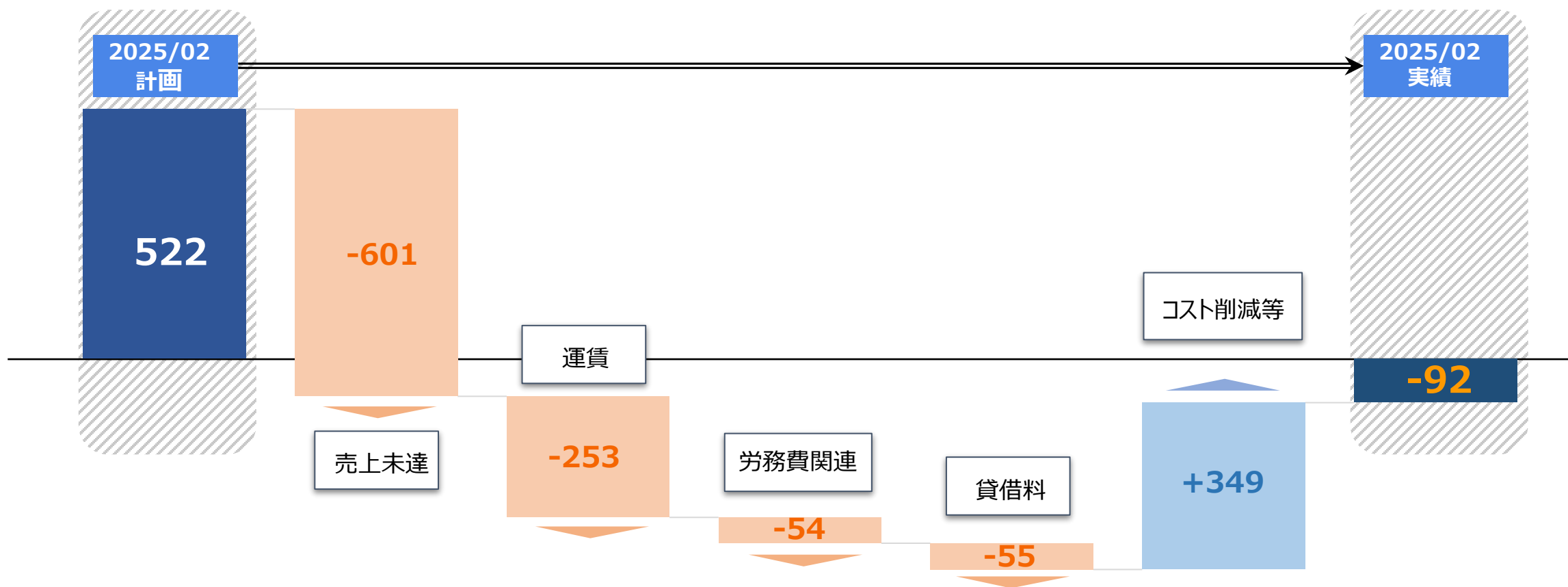
	2025/2期 通期 [計画・連結]	2025/2期 通期 [実績・連結]	計画比	
			増減額	増減率(%)
売上高	15,871	<b>15,270</b>	△601	△3.8
営業利益	542	△ <b>47</b>	△590	-
経常利益	522	△ <b>92</b>	△614	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	352	△ <b>848</b>	△1,200	-

# 【対計画比・連結】経常利益 増減分析

- 売上高はサイバー攻撃の影響で話が進んでいた新規案件が解消となり4Qまで影響、計画ほど伸びず未達の主要因  
労務費関連も売上に伴い、圧縮するべきだがサイバー攻撃とその後の対応等追加計上したことが影響

※計画は2024年4月に開示した数値を使用、修正後ではございません。

(単位：百万円)



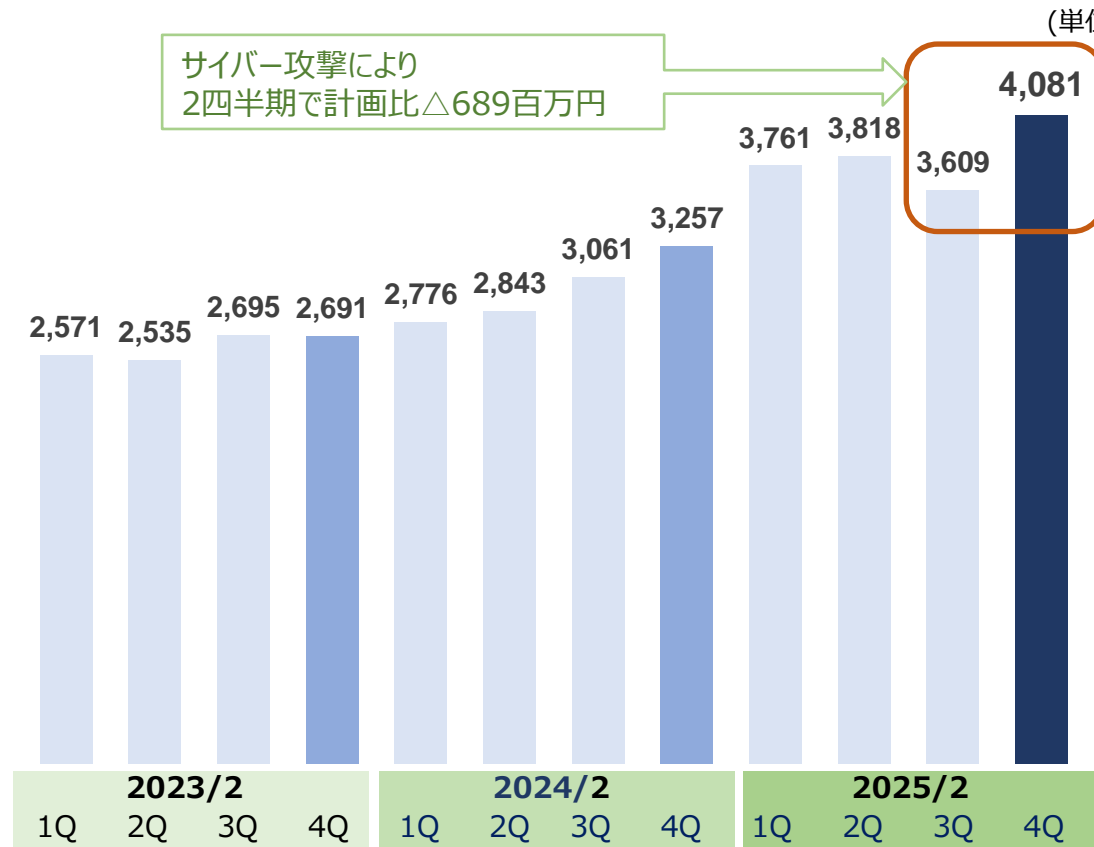


## Ⅲ. 四半期別

# 売上高・経常利益 四半期推移

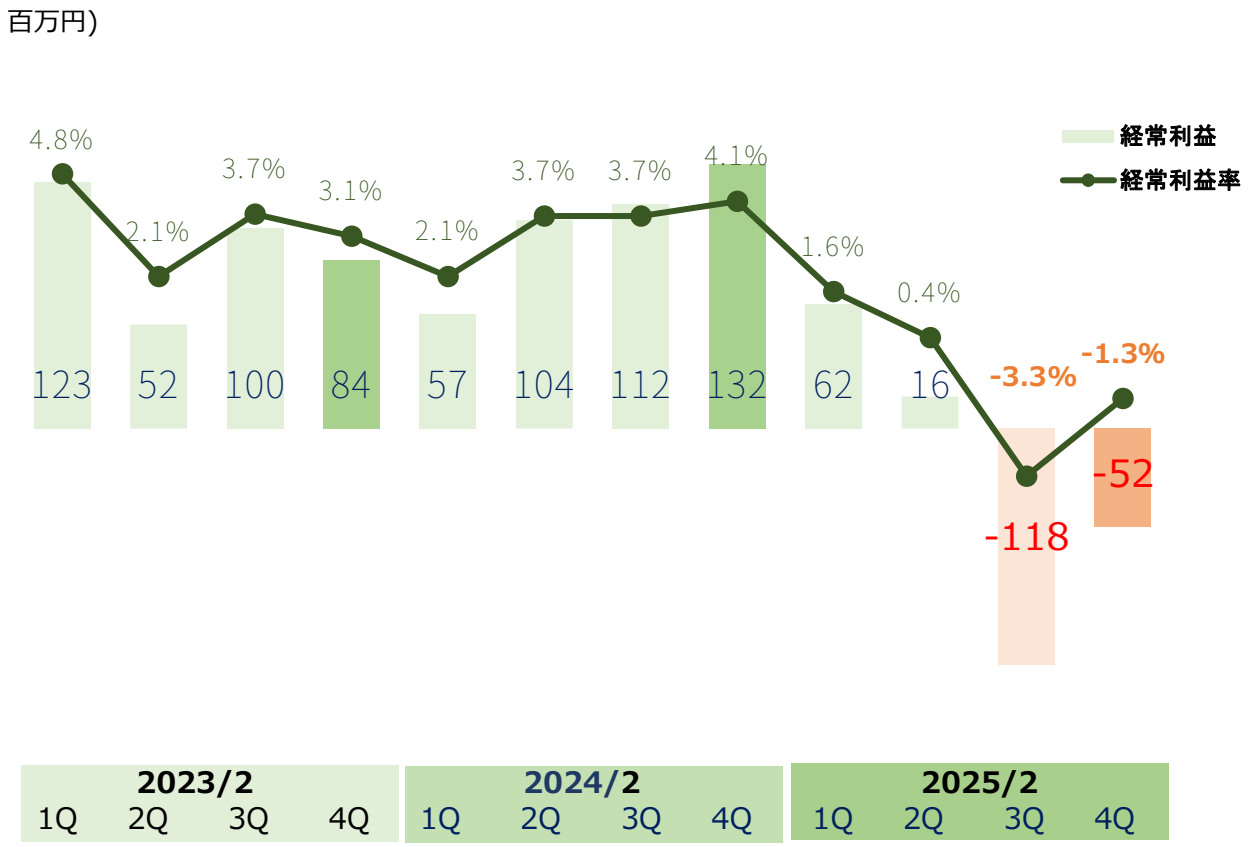
## 連結 四半期売上高

- 第4四半期売上高、関通ネクストロジ計上の影響で四半期別過去最高
  - とはいえ当初計画比ではサイバー攻撃の影響が響き、3Q△470百万円+4Q△219百万円の合計689百万円が計画未達
- ※計画は2024年4月に開示した数値を使用、修正後ではございません



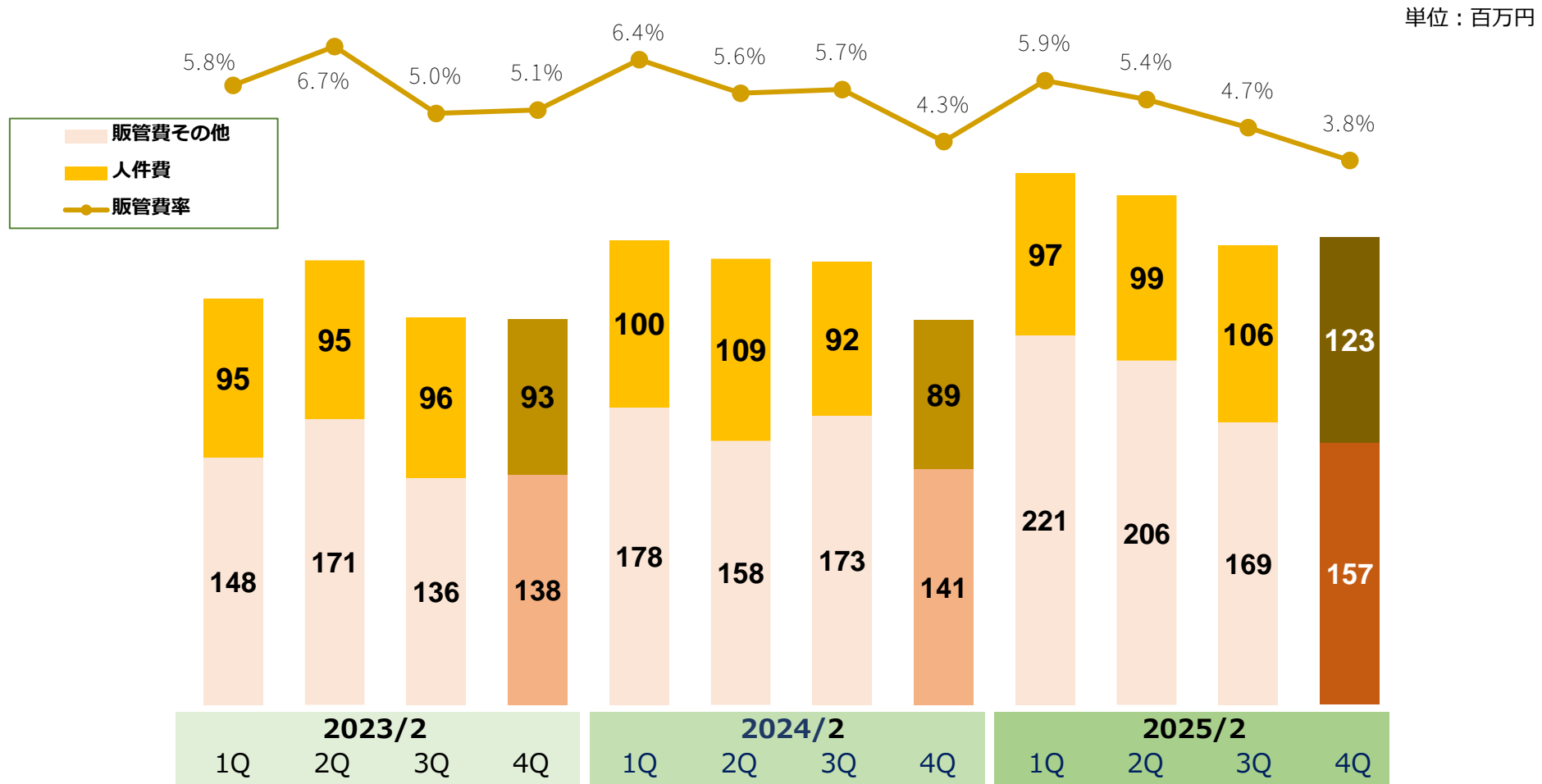
## 連結 四半期経常利益

- 第4四半期単体では第3四半期より経常利益率は改善も、労務費及び関連費用が想定以上に大きくなりマイナス着地



# 販管費 四半期推移

■ 第4四半期、サイバー攻撃後の対応を中心に販管人件費も大幅増、四半期別では過去3年で最大となる123万円計上  
コスト削減等により販管费率自体は圧縮傾向







## IV.セグメント別

# 【対前年比・連結】セグメント別

(単位：百万円)

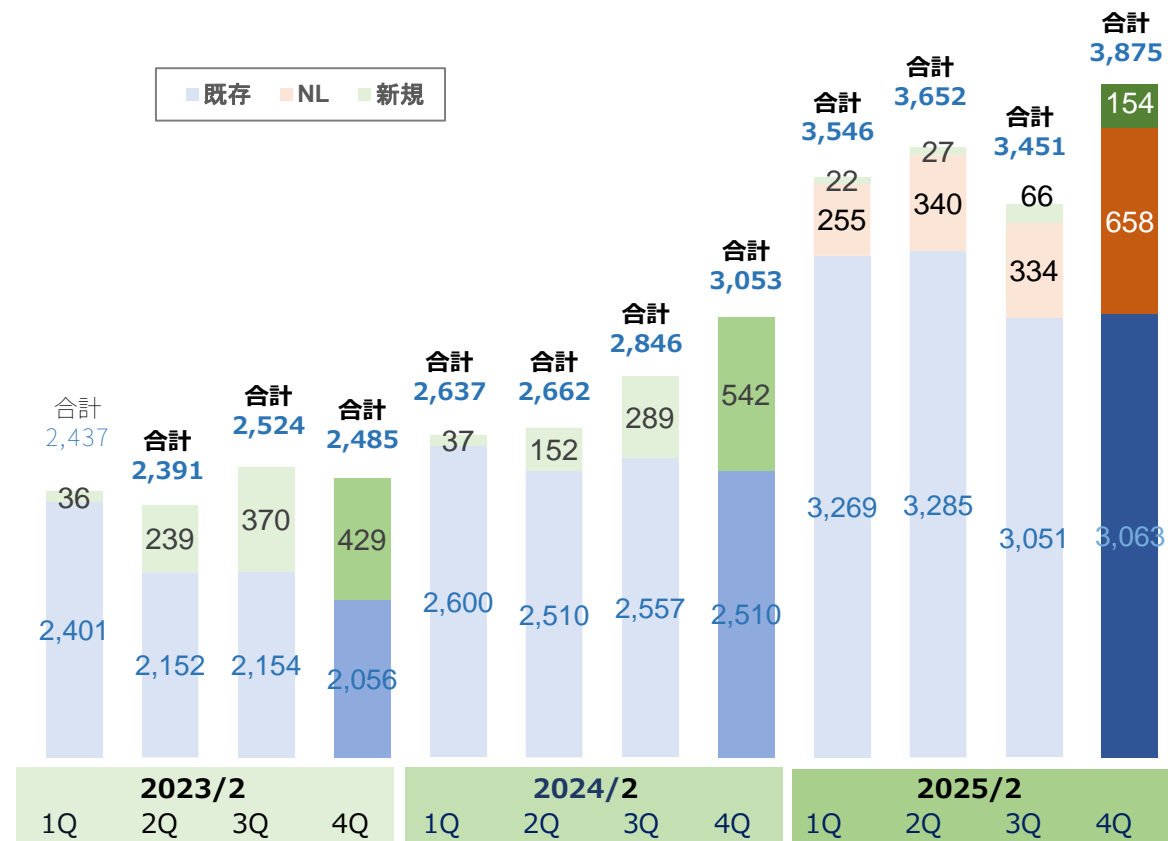
- 物流サービス事業の売上は関通ネクストロジ分及び前期3Q取引開始の大型案件の影響で大きくプラスも、既存のお客様はサイバー攻撃後想定ほど回復せずマイナスで着地
- ITオートメーション事業はクラウドトーマス・アニーともにサイバー攻撃の影響が大きく、数社解約も発生

		2024/2期 通期 [実績]	2025/2期 通期 [実績]	前年比 増減率(%)
物流サービス事業	売上高	11,197	<b>14,524</b>	+29.7
	営業利益	100	<b>△328</b>	-
SaaS利用料	売上高	350	<b>318</b>	△9.1
機器・導入・開発	売上高	284	<b>315</b>	+10.9
ITオートメーション事業合計	売上高	634	<b>638</b>	+0.7
	営業利益	314	<b>333</b>	+6.1

# 物流サービス事業売上高 四半期推移

## 物流サービス事業 四半期売上高

単位：百万円



### ■ 第4四半期

- ・既存のお客様はサイバー後の回復は想定に届かず
- ・子会社の関連NL(ネクストロジ)は順調に伸長

### ■ 通期

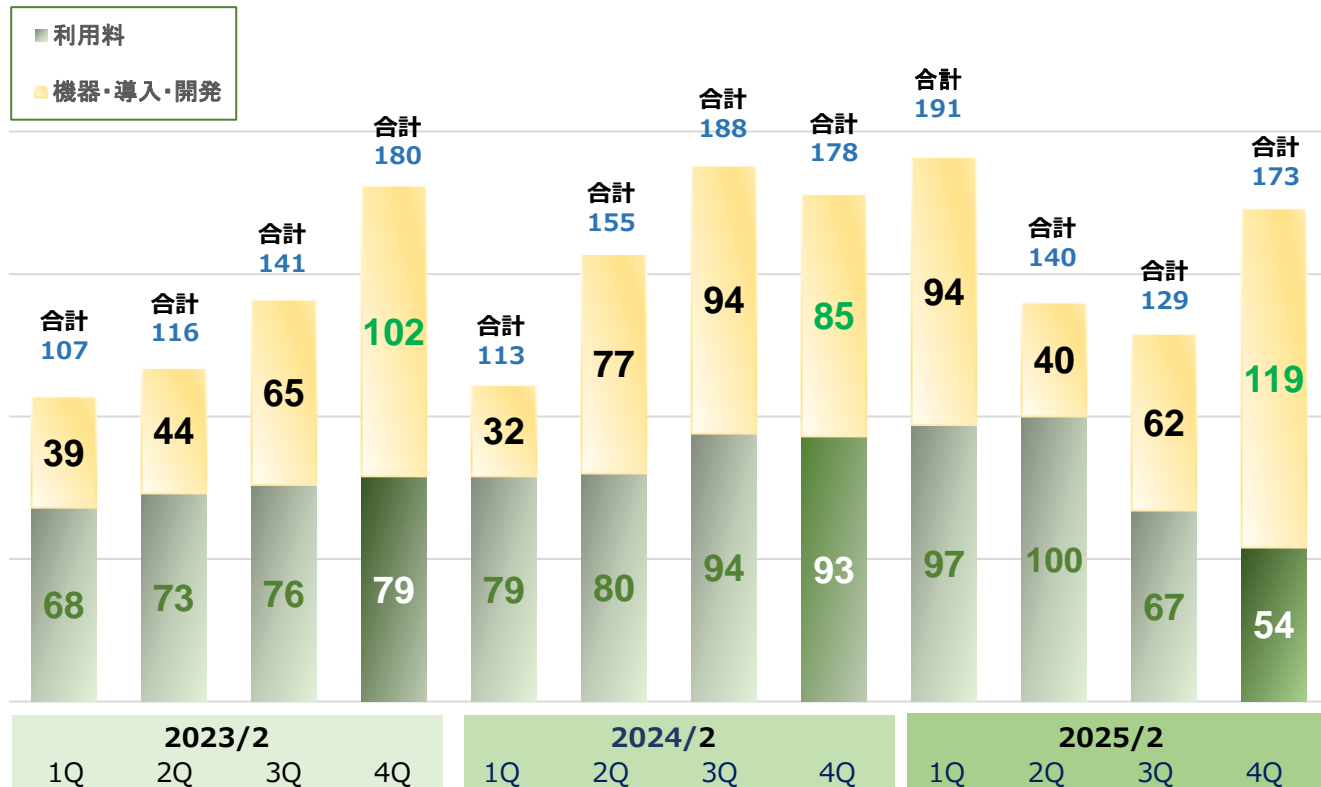
- ・上期で獲得した新規のお客様が下期伸長するビジネスモデル
- ↓
- ・2024年9月のサイバー攻撃で新規交渉は全中止  
この影響が大きく新規売上は269百万円  
(前期1,020百万円)

※一部、新規お客様の計上月の変更による数値修正により、開示済みの数値との明細差異が御座いますが事業合計金額に変更はございません

# ITオートメーション事業売上高 四半期推移

## ITオートメーション事業 四半期売上高

単位：百万円



### ■ 第4四半期

#### [利用料]

2024年9月のサイバー攻撃の影響  
一部解約も発生

#### [機器・導入・開発]

クラウドトーマス・アニー導入先等への  
機器販売が好調



### ■ 通期

ストック型として着実に成長していた利用料は  
サイバー攻撃を受けてベース減少

↳ セキュリティを強固にした新サービス  
として提供へ

※一部、SaaS利用料と機器・導入・開発の数値修正により、  
前期開示の数値との明細差異が御座いますが事業合計金額に変更はございません



# V. 2026年2月期 連結業績予想

# 計画【対前年比・連結】2026年2月期

■サイバー攻撃の影響から回復、あらゆるセキュリティを強化し次の打ち手に進むための一年  
既存事業の体制強化を軸に、新規事業の展開を加え、利益の創出と企業価値の向上に向けてグループ一体となって邁進していく

(単位：百万円)

	2025/2期 通期実績	2026/2期 通期計画	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	15,270	15,965	+695	4.4
営業利益	△47	259	+306	-
経常利益	△92	260	+352	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△848	187	+1,035	-

## 2026年2月期

### 既存事業への注力～サイバー攻撃からの立て直し

#### 物流サービス事業

##### ■競争力の強化

- └原点に立ち返り、物流現場での品質・生産性の向上を徹底
- └EC事業者様向けに特化した物流プラットフォームサービス「GAOW（ガオウ）」のサービス提供開始  
お客様の求めるレベルに応じたサービス提供を実施

##### ■新規営業の再開・空床対策の積極推進

- └固定費のマイナス影響を上期中に解消させる

#### ITオートメーション事業

##### ■セキュリティ強化された『クラウドトーマス』の稼働

- └これまでの自社WMSにセキュリティを強化した新商品を自社倉庫運用+お客様へ提供

##### ■お客様増に対応できるサポート体制

- └顧客の多様なニーズに応じた対応
- └カスタマイズが必要なエンタープライズ案件・・・「トーマスPro」  
低～中価格帯のボリュームゾーン・・・「SaaS型新WMS」（予定）

#### 社内バックアップ体制

##### ■セキュリティ体制の構築

- └トーマス稼働環境、インフラ全面見直しを完了
- 外部アクセス制御とネットワーク監視体制の構築
- 社内教育の充実（週一回のセキュリティ勉強会実施）
- 外部・内部のセキュリティ監査の実施

##### ■プランBの設計

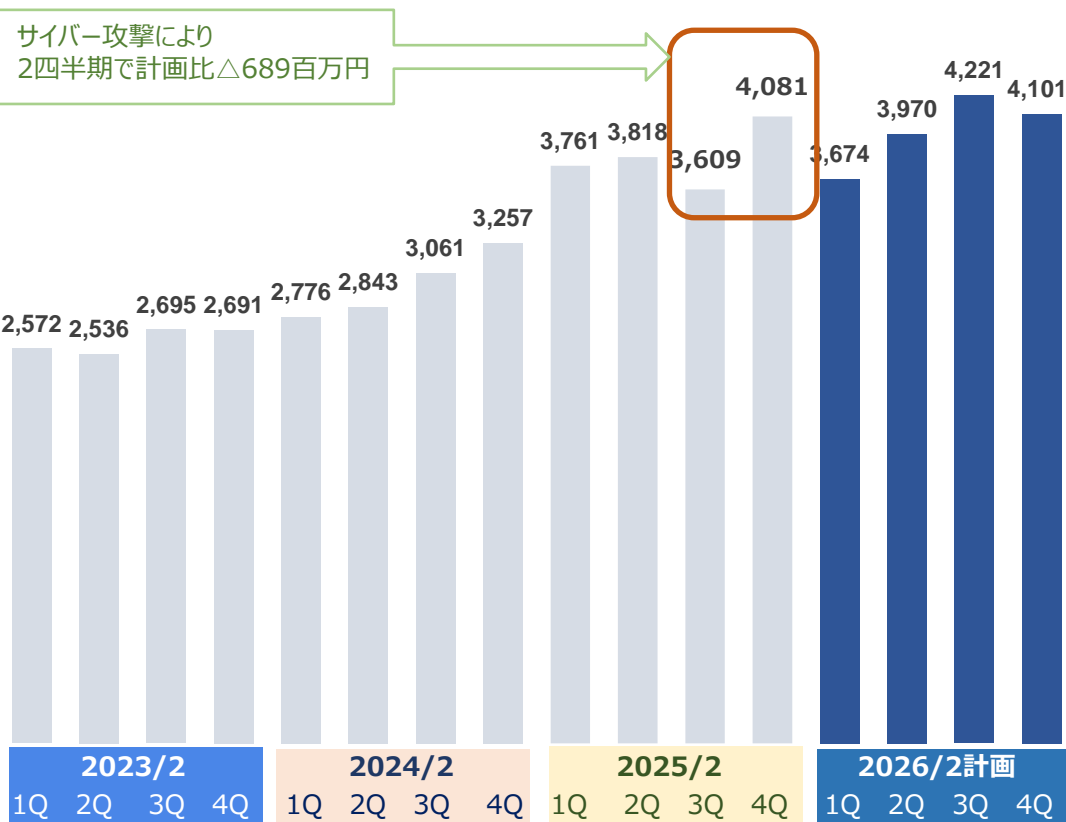
- └障害発生時の復旧プランの確立
- トーマス稼働環境、ネットワークは実装済み
- 個別システムに対する障害発生時のバックアップ体制構築
- 障害発生時の対応訓練の実施

# 【通期計画・四半期推移】2026年2月期連結

## 連結 四半期売上高

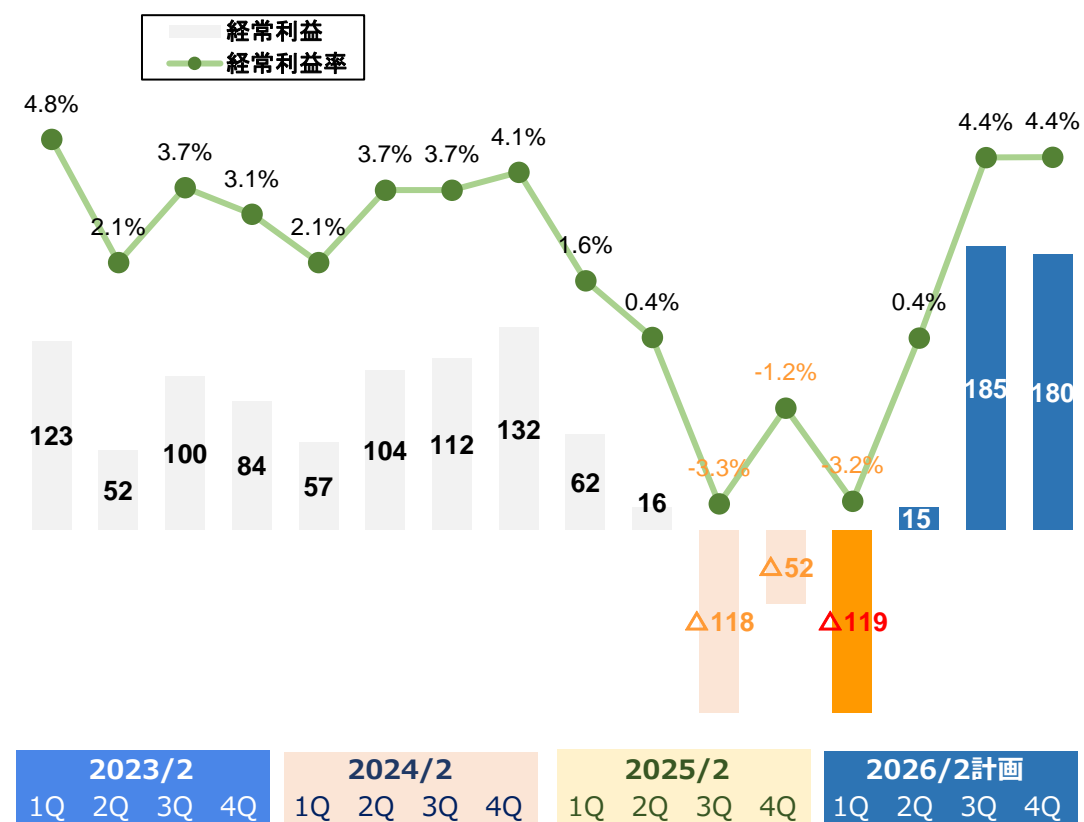
- サイバーからの立て直しに向けて、  
上期は既存事業の体制強化を軸に、新規事業の準備に注力  
下期に向けて物流新規獲得によりベースアップ

単位：百万円



## 連結 四半期経常利益

- 第1四半期はサイバーからの立て直し継続、  
前期末より継続してマイナス想定でスタート
- 体制強化により利益構造を再確立し下期黒字化へ





# 【通期計画・セグメント別】2026年2月期

(単位：百万円)

- 物流サービス事業・IT事業ともに、サイバー攻撃の影響から回復しセキュリティ対策を強化事業を強固にし次の打ち手に進むための一年と位置づける
- サイバー攻撃を機に現在の事業環境と関連のリソースを戦略的に分析し、強みを活かせる新規事業の展開に向けた1年

		2025/2期 通期 [実績]	2026/2期 通期 [計画]	前期比 増減率(%)
物流サービス事業	売上高	14,524	<b>15,037</b>	+3.5
SaaS利用料	売上高	318	<b>349</b>	+9.7
機器・導入・開発	売上高	315	<b>318</b>	+1.0
ITオートメーション事業合計	売上高	638	<b>667</b>	+4.6

# 免責事項

## 免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】

株式会社関通 IR担当

お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。

URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

